

ごみゼロやまがた推進県民会議各委員の所属団体における活動状況等一覧（産業部会）

所 属	役 職	氏 名	平成30年度の3 Rに向けた活動状況	平成31年度の3 Rに向けた活動目標
山形県環境保全協議会	会 長	鈴木喜代壽	<ol style="list-style-type: none"> 1 やまがた環境展に出展。会員企業200社へ出展依頼及び当日の参加を呼びかけた。 2 メールマガジンを利用し、会員企業への案内等はメールを利用しコピー用紙の削減を行った。 3 当協議会総会後の企業等交流会（懇親会）で参加者72名に対して、30・10（さんまる いちまる）運動を呼びかけた。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 やまがた環境展に出展。会員企業へ出展依頼、当日の参加を呼びかける。 2 総会後の企業等交流会（懇親会）で30・10（さんまる いちまる）運動を呼びかける。 3 メールマガジンを利用し、会員企業への案内等はメールを利用しコピー用紙の削減を行う。
一般社団法人 山形県産業廃棄物協会	会 長	黒澤利宏	<ol style="list-style-type: none"> 1 やまがた環境展で展示ブースを設置し、産業廃棄物処理工程や不法投棄原状回復作業などのパネル展示、廃棄物全般についての環境クイズ、リサイクル自転車の来場者抽選会を行い、廃棄物に関する啓発を行った。なお、リサイクル自転車を17台提供した。 2 県の総合支庁ごとに設置されている不法投棄防止対策協議会に助成するとともに、原状回復作業に会員が協力した。 3 会員名簿は、毎年印刷し配付していたが、平成30年度から取りやめた。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 産業廃棄物処理業は、廃棄物を単に処理するだけでなく、資源やエネルギーとして活用していくことにより循環型社会の形成を推進する産業であるが、このことを広く社会にアピールしていくため、当協会の名称を2019年4月から「一般社団法人山形県産業資源循環協会」と変更する。 2 やまがた環境展で展示ブースを設置し、産業廃棄物処理工程や不法投棄原状回復作業などのパネル展示、廃棄物全般についての環境クイズ、リサイクル自転車の抽選会を行い、廃棄物に関する啓発を行う。（予定）
山形県商工会議所連合会	常任理事	阿部英弥	<ol style="list-style-type: none"> 1 使用済用紙や古紙等を分別し、リサイクル活動を行った。 2 女性会を中心に3010運動を取り入れ、呼びかけを行った。 3 会館にごみ削減キャンペーン等のポスターを掲示。 	<p>○ 左記活動を継続して行っていく。</p>

所 属	役 職	氏 名	平成30年度の3Rに向けた活動状況	平成31年度の3Rに向けた活動目標
山形県電機商業組合	専務理事	川口正男	<ol style="list-style-type: none"> 1 家電リサイクル法の推進を図るため、組合員へ地域電気店用の家電リサイクル法改訂版ポスターを配布し店内に掲示していただいた。 2 組合事務所では、印刷済みの用紙の裏紙使用や雑紙類の分別など事務所で出来るリサイクル活動を実施している。 3 食品ロス削減を目指し、3010運動を支部総会の懇親会や講習会の昼食時に呼びかけている。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 地域電気店でレジ袋の使用を控える。 2 組合事務所においては継続して行う。 3 3010運動についても引き続き呼びかけていく。
一般社団法人 山形県建設業協会	会 長	澁谷忠昌	<ol style="list-style-type: none"> 1 会員企業や支部青年部による道路・河川の美化活動を実施している。 2 会員企業や支部への案内や通知等は、ほぼ全てメールで配信しペーパーレス化している。 3 会員企業においては、情報共有システムを用いて受発注者間の書類の簡素化、電子化に努めている。 4 美しい山形・最上川フォーラムの会員として年会費を納め、行政、市民による県内河川の美化活動を支援している。 	○ 来年度も引き続き30年度の事業を実施する予定。
山形県再生資源商工組合	事務局	庄司里沙	<ol style="list-style-type: none"> 1 定時総会時の会食事前オーダー制 2 所属する事業所単位で行う宴会時の食べ切り運動への声掛け。 3 会議資料の一部簡略化に伴うコピー用紙の削減。 3 不必要なシュレッダー処理中止の声掛け 	<ol style="list-style-type: none"> 1 30年度 of 取組事項の再取組み 2 取引先への用紙等分別指導の実施 3 団体として取り組めるゴミ減事業の新しい道を探していく。
山形県環境整備事業協同組合	理事長	丹野善将	<ol style="list-style-type: none"> 1 廃棄物の適正な処理による環境負荷の低減 <ol style="list-style-type: none"> ① 廃棄物の適正処理の推進 ② 廃棄物の不法投棄の防止 2 宴会時の食べきり運動（3010運動）の呼びかけ 3 裏紙の利用とFAX用紙の出力削減 	<ol style="list-style-type: none"> 1 廃棄物の適正な処理による環境負荷の低減 <ol style="list-style-type: none"> ① 廃棄物の適正処理の推進 ② 廃棄物の不法投棄の防止 2 宴会時の食べきり運動（3010運動）の呼びかけ 3 裏紙の利用とFAX用紙の出力削減 4 災害時体制の構築 山形県との「災害一般廃棄物の収集運搬に係る協定書」に基づき、被災市町村及び関係団体と連携し、災害廃棄物処理体制を構築する。

所 属	役 職	氏 名	平成30年度の3 Rに向けた活動状況	平成31年度の3 Rに向けた活動目標
公益社団法人日本青年会議所 東北地区山形ブロック協議会	会 長	西 方 茂 太	1 会議の際、次第等紙資料を使用せず、ウェブ上で配信しペーパーレス会議を実施。 2 事業開催時、アンケートの実施を紙資料を使用せず、ウェブアンケートを実施。	○ 31年度も、30年度の取組みを継続して実施の予定。
公益社団法人 山形県食品衛生協会	会 長	長谷川正芳	1 食品衛生責任者養成講習会の公衆衛生学において、廃棄物処理の中で講義を行った。 2 「もったいない山形」協力店について、食品衛生責任者養成講習会、山形県食品衛生推進者大会、指導員の会議等において協力店登録についてのPR、情報提供を行った。	1 食品衛生責任者養成講習会の公衆衛生学において、廃棄物処理の中で講義を行う。 2 「もったいない山形」協力店について、食品衛生責任者養成講習会等の機会を捉えて、協力店登録についてのPR、情報提供を行う予定。
山形県JA女性組織協議会	副会長	保科なお子	1 食品ロスを削減するべく、「もったいない」を「ありがとう」に変えるフードドライブに取り組み、自宅で余っている食品等の提供に協力した。 2 会議や研修会を行った際には、昼食時に箸を持参し、割り箸の使用を控える「マイ箸運動」を行っている。	1 引き続き、フードドライブに取り組んでいく予定。 2 節電による環境保全、防災について考える取組みとして「88運動」をはじめ、家庭レベルで取り組みやすい環境保全活動に取り組んでいく予定。
山形県工業会	会 長	松 村 英 一	1 印刷済みの用紙や古紙等を分別回収し、リサイクル活動に努めている。また、ゴミの分別も行い、ゴミ削減活動も行っている。	○ 31年度も引き続き、30年度の活動を周知徹底していきたい。
山形県商工会女性部連合会	会 長	丸 森 典 子	① 廃食油の回収と再利用 ② 牛乳パックの回収と再利用 ③ フリーマーケット・バザーの定期的な開催 ④ エコキャップ回収運動 ⑤ マイ箸持参運動 ⑥ アルミ缶・プルタブ回収運動 ⑦ ゴミ袋削減運動 ⑧ 生ゴミ堆肥化運動 ⑨ その他（普及啓発、環境教育など）	○ 各女性部で継続してエコ活動に取り組んでいく予定。